



『くまのぼりす』

ディック・ブルーナ ぶん え
まつおかきょうこ やく
福音館書店

ある日、ぼりすは考えました。「だいぶ さむくなってきた。ふゆがくる まえに まきの よういをしなくっちゃ。」森にでかけ、まき集めの大事な仕事を終わったら、あとはうちでゆっくり過ごします。深い青と緑の寒々しい背景に対して、暖炉の火やスープ、テーブルなど、ぼりすの家のなかの色彩があたたかく目に映ります。冬の訪れをしみじみと感じさせてくれる絵本です。

➡ おひざの上で読んであげたいくまの本

『くまのディちゃん』

(グレッタ・ヤヌス 作 ロジャー・デュボアザン 絵)

湯沢朱実 訳 こぐま社)
